

百人一首

12月4日は清瀬二中と清瀬三中と本校の1組が百人一首大会を開催しました。司会は二中の生



徒さんです。各学校には、百人一首マイスターがいるようで、清瀬中のみんなはかなりてこずっていました。勝つことはできませんでしたが清瀬中内の最多獲得者には賞状が贈られました。2・3年生は、昨年度に、両校とボッチャにて交流を図っておりますから、久しぶりの再会です。



1組通信“薈”に、詠まれた教員自作の短歌

「各班に 1組 最下位 いたけれど 再会 できて みんな幸せ」
が紹介されました。百人一首には、紫式部の詠んだ再会にふれた歌があります。

『巡りあひて 見しやそれとも わかぬまに 雲がくれにし 夜半の月つきかな』

【現代語訳】久しぶりにめぐり会えたのに、あなたかどうか見分けがつかないほどの短い時間で帰ってしまった。

まるですぐに雲に隠れてしまった夜中の月のように。

幼いころを共に過ごした友人と久しぶりに会えたのに、あっという間に再会の時間がすぎてしまった寂しさを詠んだ歌です。再会はわずかな時間でしかなかったことが、雲間にすぐに隠れてしまう夜中の月になぞらえています。百人一首大会は、2時間というあっという間のイベントでした。まさに1組の皆さん心境を表現した歌ではないでしょうか。

一組の教室の南側から、夜半の月を観察しようと出てみると、イチョウが職



員室から漏れた灯りに照らされていました。幻想的なムード。紫式部になりきり、空を見上げましたが、月を隠すような雲が一つもない夜空に溶け込んでいます。昼間は青と黄色がコラボしています。

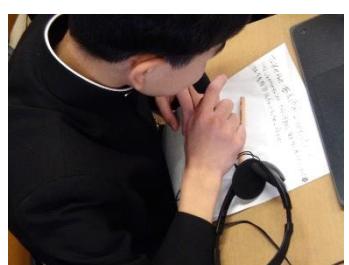


次の朝の教室内に雲がかかっていました。生徒会主催“清瀬中クラウド”です。広く清中生から意見を集めるために行われました。かつて清中に存在した目安箱をデジタル化したのです。

多くの質問の中、いくつかピックアップすると、「生徒会に」エコキャップ運動をまたやってほしい。「図書委員会に」本を借りる期間を長くしてほしい。「美化委員会に」美化デーを増やすべき!!中には、生活委員に、「チャイムアウトの数を集計するだけでは意味がない。これをどうやって時間を守るように導くか話し合いたい」と付加価値をつけようとする意見もありました。これを受けた委員会が動き出します。いっちょう いっせきにはいきませんが。



学力向上も一朝一夕にはいきません。10日、市教委訪問がありました。3名の英語の先生方によって研究授業が行われました。デジタルを活用しながら自ら学習を調整する生徒の姿を見ていただきました。端末を用いて、それが乗換案内をしました。また、題材を通して学んだ表現を音声入力することにより、発音を確認しました。これが上手くいかない。日本語の発音のような英語となっていることが原因です。この後の研究協議において、英語科からアプリの情報がでました。ネイティブの発声する文を手本に、音声を入力すると、発音があつていれば○。間違つていれば×の表示と共に「ブー」と音が響きます。紹介された教員が発音のめり込んでいます。ピンポンと○が出て、いいちようし!とはいかず。その教員が私にもやってみろと視線で振ります。「発音が悪かったら、ブーをくらうぞ!」と。トライするも「ブー」。自信をもっていた自分が恥ずかしくなり、



『×にあひて 見しや小澤と わかぬまに 雲がくれにし 夜半の月つきかな』私の心境です。